

9 博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ。かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。

10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。

11 それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

12 彼らは夢で、ヘロデのところへ戻らないようにと警告されたので、別の道から自分の国に帰って行った。

【 ミカ書 】

5 : 2 「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのために イスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている※。」

※「永遠の昔」の原語は、最も強い語感がある言葉。「メシアの永遠性」を示唆している。

【 民数記 】

24 : 13 『たとえバラクが私に銀や金で満ちた彼の家をくれても、【主】のことに背くことは、良いことでも悪いことでも、私の心のままにすることはできません。【主】が告げられること、それを私は告げなければなりません。』

24 : 15 「ベオルの子バラムの告げたことば。目の開かれた者の告げたことば。

24 : 16 神の御告げを聞く者、いと高き方の知識を知る者、全能者の幻を見る者、ひれ伏し、目の開かれた者の告げたことば。

24 : 17 私には彼が見える。しかし今のことではない。私は彼を見つめる。しかし近くのことではない。ヤコブから一つの星が進み出る。イスラエルから一本の杖が起り、モアブのこめかみを、すべてのセツの子らの脳天を打ち砕く。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2020年12月13日(日) 礼拝メッセージノート



「 異邦人最初のクリスマス ～東方の博士たちの信仰 」

「クリスマス」④ マタイの福音書 2:1-12 他 小野寺 望 牧師

【 マタイの福音書 2章 】

- 1 イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
- 2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。」
- 3 これを聞いてヘロデ王は動揺した。エルサレム中の人々も王と同じであった。
- 4 王は民の祭司長たち、律法学者たちをみな集め、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。
- 5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれています。」
- 6 『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダを治める者たちの中で決して一番小さくはない。あなたから治める者が出て、わたしの民イスラエルを牧するからである。』
- 7 そこでヘロデは博士たちをひそかに呼んで、彼らから、星が現れた時期について詳しく聞いた。
- 8 そして、「行って幼子について詳しく調べ、見つけたら知らせてもらいたい。私も行って拝むから」と言って、彼らをベツレヘムに送り出した。

(4ページへ続く)

◆ はじめに

| 環境に左右されない信仰を：コロナ禍での初めてのクリスマス

- ①それぞれの地域教会は、クリスマスの祝い方について、やむを得ず中止したりリモートにしたり頭を悩ませ、また信者も戸惑いを覚えている。
- ②メシアを拝した最初の異邦人の信仰に習い、大いに励ましをいただこう。

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 異邦人最初のメシア礼拝から学ぶ

*このメッセージは、救い主の誕生を喜ぶ博士たちの信仰から学ぶものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

I 東方の博士たちの素性

- (1) どこから来た？：東方から
 - ①エルサレムから東方のメソポタミア地方、バビロニアを指す。
 - ②かつてイスラエルの民が、神のさばきとして捕囚を味わった苦難の地。
 - ③何日もかけて（恐らく商隊などと共に）やってきた。
- (2) 職業：天文学者（原語は「マギ」（複）、知者、厳密には占星術師の意）
 - ①バビロンの占星術や偶像は、ユダヤ人を偶像礼拝の罪に引き込んだ。
 - ②当時は、占いやオカルトと科学が未分化の状態であった。
 - ③星による特別な導きを察知するために役立った。
- (3) 目的：「ユダヤの王としてお生まれになった方」を拝するため。
 - ①ユダヤ人でなくても礼拝するに相応しい王であることを知っていた。
 - ②その誕生のタイミングも、知っていたと思われる。
 - ③相応しいささげ物（黄金、乳香、没薬）も用意していた。
*博士たちは3人ではない（博士に名前が付され、3人に限定されたのは後世の伝承）
 - ④直接メシアを礼拝せずに、ヘロデ王をたすねなければならない理由があった。



II 彼らが王の誕生を知るためのキーワード

1.バビロン出身であること

- (1) 預言者ダニエル
 - ①ダニエルは捕囚の際、占星術師たちの学者たちの筆頭に立った。ダニ2：48
*彼自身は偶像礼拝者ではなく（律法で禁じられている）、模範的な信仰。
 - ②彼は捕囚の地で、神から直接受けた預言の啓示『ダニエル書』を書き記した。
 - ③書中でメシア誕生のタイムテーブルを明かす「七十週の預言」ダニ9：24-27
- (2) 預言者バラムと民数記
 - ①バラムは異教の預言者で、バビロニア出身の占星術師。民22：5、申23：4
 - ②神の御手により、彼が意図せずに語ったイスラエルを祝福する預言の中で、来るべきメシアと「杖」（王権）と「星」を結んだ。民24：17

2.不思議な星のいざない（博士たちの証言より）

- (1) 星の動き：①東から西に、そして北（エルサレム）から南（ユダ）に。
 - ②最後は幼子イエスがおられた家（ベツレヘム）にとどまった。
 - ③博士たちには超自然の星であることがすぐに分かる。
 - ④神の臨在をあらわす光（シャカイナ・グローリー）が異邦人に現れた。
- (2) メシアの性質を表した：民数記のメシア預言の成就。メシアは王である。
- (3) メシアが誕生した場所を示した：捕囚前に書かれたミカ書の不理解を補う？

III 博士の信仰とヘロデ王の不信仰

- (1) 中間時代を経て、民衆のメシア待望（政治的メシア像）は膨らみつつあった。
*メシア降誕以前の3世紀ほどの期間を指し、預言が一切途絶えた。旧約聖書と新約聖書の中間期。
- (2) 猜疑心の強いヘロデ王（エドム人）にとっては、逆に厄介な存在であった。
 - ①誕生の地（ユダのベツレヘム）を示すミカ5：2は、ユダヤ人にとって常識。
 - ②それをわざわざ祭司長や律法学者を集めて確認させる無知。
*博士の証言から、星は約2年に渡り現れたことから、メシア誕生の時期が特定された。
 - ③礼拝すると偽り、メシア殺害を企てる（神の働きにより、この企ては失敗）。
- (3) ヘロデ王の側近たち（祭司や律法学者）も同様に驚いた（不信仰の表れ）。
- (4) 一方、博士はなお星に従い、幼子イエスにひれ伏して礼拝。感謝に満たされた。
その後、神は「ヘロデに会うな」と夢で命じ、彼らは従って帰路に就いた（12節）

◆まとめ：異邦人最初のメシア礼拝から学ぶ

1.博士たちがメシア礼拝に用意した3つの備え～黄金、乳香、没薬（11節）

- (1) ささげ物はメシアを表す。キリストは王であり、神であり、死なれるお方である。
*それらの知識も、預言者ダニエルなどから知り得る真理である。
- (2) 博士たちの確信と信仰を表す。それぞれが宝箱に収められた高価なもの。
*異邦人であっても、選びの民とメシアの到来を喜べ！（ロマ15：10-13）

2.環境を超えて育まれる信仰 ～神はクリスマスを通して、あなたに働かれる

- (1) いくら選ばれていても（ユダヤ人）、また環境が恵まれていても（王宮の人々）、靈性に結びつかないことがある好例である。
- (2) 偶像の地に住む博士（占星術師）がみことばを信じて、唯一礼拝すべき王への備えを手に、期待と喜びに後押しされながら、幼子イエスを拝した。
- (3) 博士たちの信仰を神は受け入れ、メシア降誕の証言者として用いた。
 - ①与えられた状況で、期待と好奇心と喜びをもって、神を受け入れる大切さ。
 - ②神はいつも、メシアを知るための赤星を（比喩的に）用意してくださる。
 - ③王なるキリストを証しする声（星）に耳を傾け、救い主を受け入れよ！
博士たちの信仰に続いて、今度は私たちも応答しよう。メリークリスマス！！